

# 竪穴住居復元プロジェクト

代表者	檜原郁美
所在地	〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中 500 (兵庫県立考古博物館)
設立年月日	2008年1月4日
URL	http://www.hyogo-koukohaku.jp/

## 【設立趣旨】

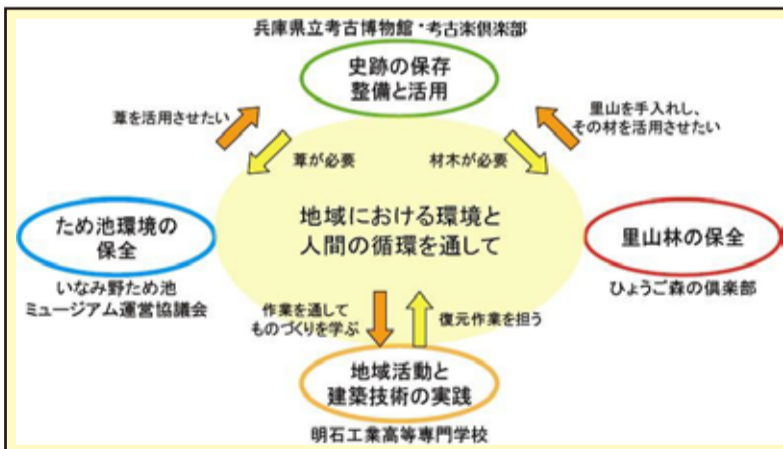
兵庫県加古郡播磨町にある大中遺跡は、住居跡の数と平面形の種類の多様性に富むことが特徴的な集落遺跡として、1967年に国指定史跡に指定されました。以後地域の住民の憩いの公園として利用されてきましたが、遺跡そのものの活用は決して盛んではありませんでした。そこで、大中遺跡の新しい利活用のあり方として、史跡の復元整備整備にあたって、従来型のハード中心の整備ではなく、県民参加型の取り組みによるソフト面を重視した整備を進めようと、さまざまな活動に取り組む団体に参加を呼びかけ、材料の調達から骨組の架構、茅葺きまで竪穴住居復元をすべて市民参加で行い、積極的な活用に取り組むことになりました。

## 【沿革】

- 2008年1月 竪穴住居復元プロジェクト設立
- 第1棟目の材木の調達
- 3月 第1棟目の茅材の調達
- 4月 第1棟目の竪穴住居建築開始
- 10月 兵庫県知事とのさわやかトーク開催
- 2009年1月 第2棟目の材木の調達
- 2月 第2棟目の茅材の調達
- 3月 第1棟目竪穴住居復元プロジェクト完成式
- 7月 第2棟目建築開始

## 【活動目的】

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会が進める「ため池環境の保全」、ひょうご森の倶楽部が取り組む「里山林の保全」、兵庫県立考古博物館と考古楽倶楽部が取り組む「史跡の保存整備と活用」に、国立明石工業高等専門学校の「地域活動と建築技術の実践」という、まったく異なった取り組みが連携して文化財の新しい整備活用を進めます。



## 【活動内容】

- 里山林保全活動との連携(竪穴住居部材切り出し)(1月)〔写真1〕
- 里山整備を進めるボランティア団体ひょうご森の倶楽部の活動地2カ所で、竪穴住居の建築部材となるコナラ・クリ・アベマキ約60本を切り出した。
- ため池環境保全活動との



(写真1) 里山での木材の切り出し

連携(ヨシ刈り)(2月)〔写真2〕

兵庫県稲美町加古大池で、屋根葺き材として利用するヨシをトラック4台分、総勢30名ほどで刈り取り、茅葺きに備えた。

○ 史跡の整備と活用(竪穴住居の復元)(4月～)

・竪穴掘削(4月)〔写真3〕

史跡大中遺跡内に遺跡内で見つかった1辺5.2m、深さ30cmの隅円方形の竪穴住居跡を再現して掘削した。

・柱・梁・垂木建て込み(5～7月)〔写真4〕

竪穴住居の骨組み部分となる柱や梁、垂木や小舞などを、木の曲がりなどを考慮し、現場で意見交換を行いながら建てこんだ。



(写真2) ため池でのヨシの刈り取り



(写真3) 竪穴の掘削



・茅葺き(8月～)〔写真5〕

2月に刈り取った葦を使い、茅葺職人のアドバイスを受け、技術を習得しながら茅葺き作業を行った。

(写真4) 構造材の建て込み

## 【活動上の課題と今後の展望】

それぞれのグループの活動日が休日限定される上に、活動が長期間にわたるため、必ずしも同じメンバーで取り組むことができないこと、及び技術習得に時間がかかること。また、作業に参加するきっかけが、参加者声のかけによるものが多いため、活動参加者の幅が限定されています。インターネットなどでのPRや情報提供を行うことや、継続的に参加できるように、「古代のむら」ならではのイベント等をしていくことを検討しています。

今後も継続して竪穴住居の復元を行うことで、古代の村の景観を復元していきながら、完成した竪穴住居を歴史学習や古代体験活動の場として、また、それぞれの取り組みをPRする場として継続して活動していく予定です。



(写真5) 茅葺き